

平面図 SCALE=1:500

令和8年度施工範囲

施工延長 L=165.4m

表層工 A=1056.2m², 路上路盤再生工 A=726.0m²

〔国庫補助費施工範囲〕

施工延長 L=117.5m

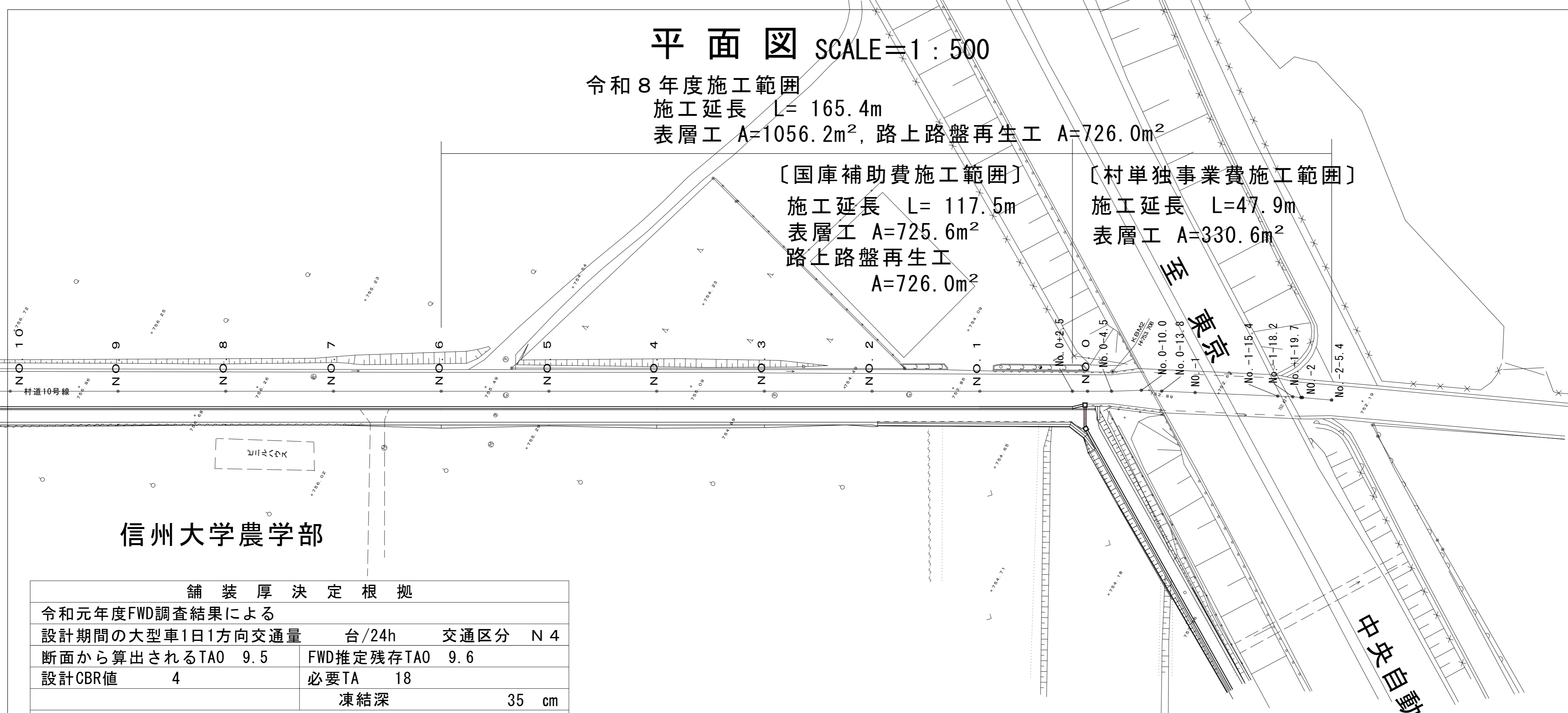
表層工 A=725.6m²

路上路盤再生工
A=726.0m²

〔村単独事業費施工範囲〕

施工延長 L=47.9m

表層工 A=330.6m²



信州大学農学部

舗装厚決定根拠

令和元年度FWD調査結果による			
設計期間の大型車1日1方向交通量	台/24h	交通区分	N 4
断面から算出されるTA0	9.5	FWD推定残存TA0	9.6
設計CBR値	4	必要TA	18
		凍結深	35 cm

将来舗装計画

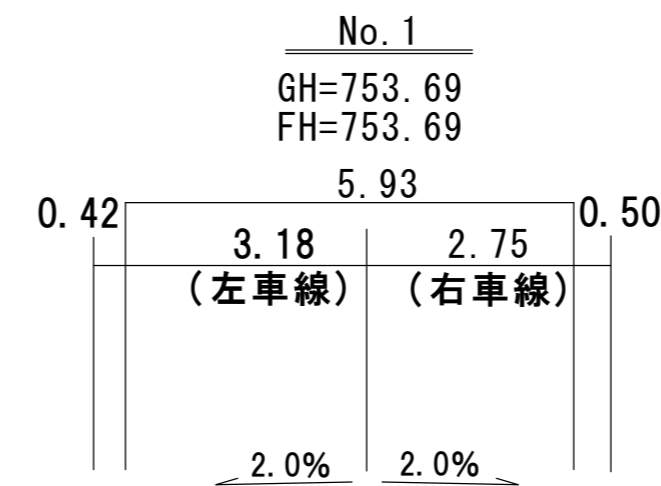
舗装厚		舗装厚	
設計CBRより	TA目標値	凍結深より	35 × 0.7 = 24.5 cm
	cm 係数 TA		
表層工	5 × 1.0 = 5.0	表層工	×
路上再生	16 × 0.65 = 10.4	上層路盤工	×
既設下層	13 × 0.2 = 2.6	下層路盤工	×
計	34 cm 18.0	凍上抑制層	cm
		計	cm
置換層	必要なし		
合計	34 cm	合計	cm

標高補正後の凍結指数 = $58 + 0.5 \times 73 \times \frac{(763-633)}{100} \approx 105^\circ \text{C} \cdot \text{日}$

舗装設計便覧曲線表より、凍結深さは35cmとなる。
設計凍結対策深さは、上記凍結深さの70%を見込み、次の値とする。
設計凍結深さ = $0.7 \times 35 = 24.5 \text{ cm} \approx 25 \text{ cm}$

標準横断面図

SCALE=1:100



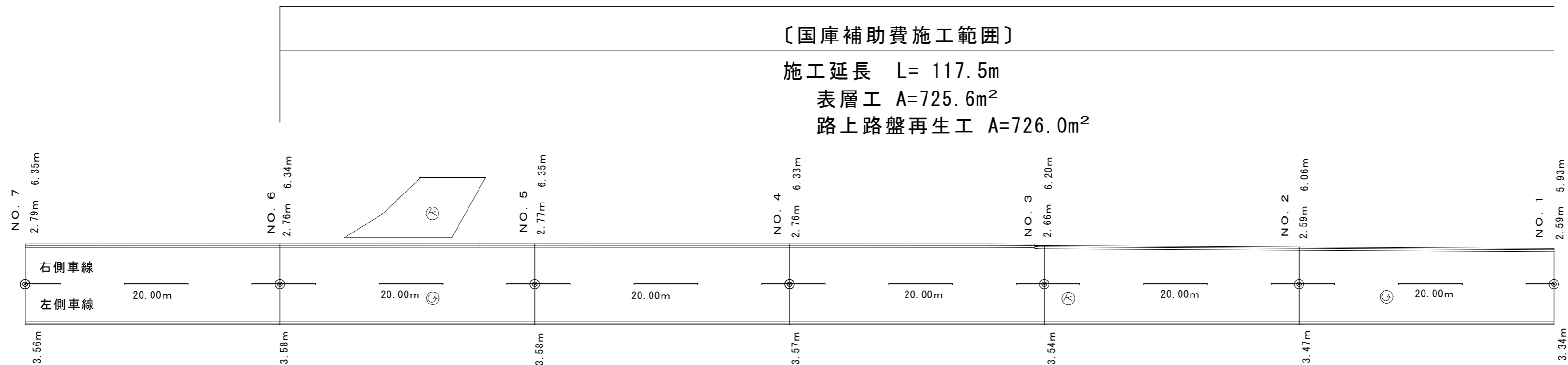
表層工 (⑤再生As20F) t=5cm
路上路盤再生工 t=16cm

実施図

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 村道10号線舗装修繕工事				
番号	1 / 2	平面図・標準横断面図	縮尺	図示
村道10 信大沢尻線 南箕輪村 沢尻・神子柴				
村長	藤城	課長	鈴木	照査
			唐澤	設計
			浦嶋	
南 箕 輪 村				

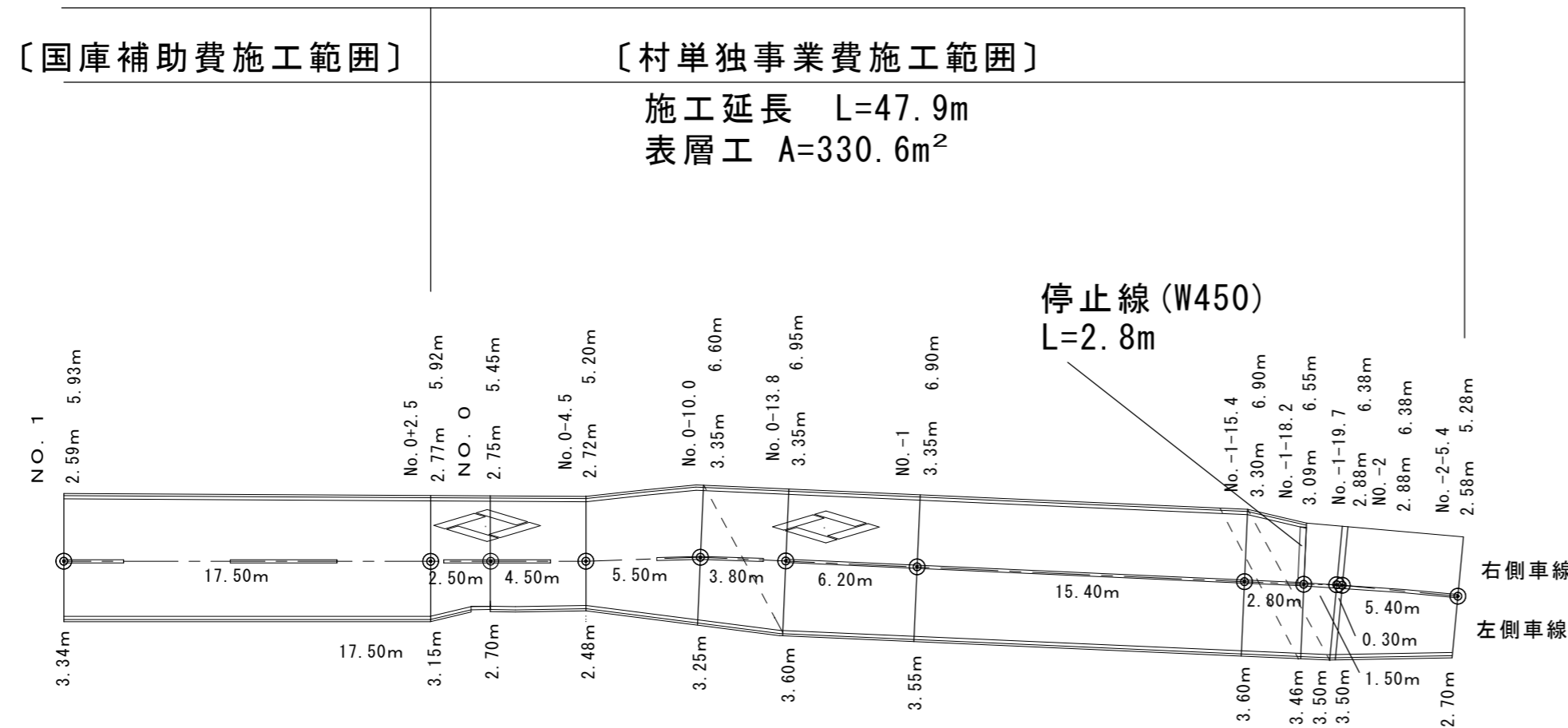
展開図 SCALE=1:200

令和8年度施工範囲 施工延長 L= 165.4m 表層工 A=1056.2m², 路上路盤再生工 A=726.0m²



〔国庫補助費施工範囲〕

施工延長 L= 117.5m
表層工 A=725.6m²
路上路盤再生工 A=726.0m²



〔国庫補助費施工範囲〕

〔村単独事業費施工範囲〕

施工延長 L=47.9m
表層工 A=330.6m²

ボックス東交差点部分
表層工 A=23.0m²

区画線

- ペイント式(外側線) 実線W=15cm
L=323.6m (左)165.4m(右)158.2m
- ペイント式(センターライン) 破線W=15cm
L=66.9m (5.0×13.4)
- ペイント式(センターライン) 実線W=15cm
L=31.6m
- 溶融式(停止線) 実線W=45cm
L=2.8m
- 溶融式 実線W=15cm
ダイヤモンド(水切り有り)
13.75m (W=15cm換算) × 2

※試掘箇所(2箇所)は監督員指示の位置による。

展開図

令和8年度 社会資本整備総合交付金事業 村道10号線舗装修繕工事					
番号	2/2	展開図	縮尺	1:200	
村道10 信大沢尻線 南箕輪村 沢尻・神子柴					
村長	藤城	課長	鈴木	照査	唐澤
			南箕輪村	設計	浦嶋